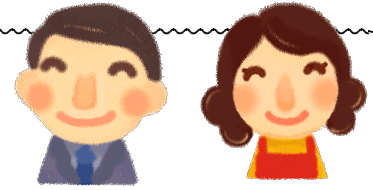


保護者学級

＜授業参観＆防災学習＞



19日（日）の保護者学級には、多数の保護者の方に参加していただきありがとうございました。特に授業参観にはお父さんの姿が多く、子どもたちも一段と張り切って学習に取り組んでいました。



授業参観後には、各地で大地震が頻繁に発生していることもあり、親子での防災学習を実施させていただきました。指導には、防災コーディネーターの東嶋とも子さんに来ていただきました。最初にプレゼンを使って外にいるときに大地震が発生した際の注意点を説明してもらいました。

地震が発生した際、身のまわりにどんな危険があるか分かったところで、通学路の危険箇所や避難場所を話し合いました。石垣やブロック塀、電柱など倒れてくる危険がある場所は赤の星マーク、水路、池など水の危険があるところは青のシール、登下校の途中で避難することができる場所には緑のシールを通学路の地図に貼り付けていきました。

お父さんやお母さんには、大人目線で通学路を見てもらい、子どもたちだけでは気づいていない危険な場所を指摘してもらうことができました。通学団のメンバーの家が広範囲になっている班では、地震が発生したタイミングでどう対応するか真剣に考えてもらうこともできたようです。



地図にシールを貼り、付箋に説明を書いて完成した通学団ごとの防災マップは体育館の壁に貼り、団長さんに発表してもらいました。地図に貼ってあるシールを指し示しながら、自分たちの通学路の危険箇所や避難場所を分かりやすく発表してくれました。そのおかげで、自分たちの通学路の危険を確認するとともに他の地域の状況も知ることができ、大変参考になったようです。保護者のみなさんも、改めてそれぞれの地域の危険や避難可能な場所を確かめることができ、参考にしてもらえたようです。また、新たな課題も見えてきたので、今後意見をもらいながらより安全な登下校の方法を工夫していきたいと思えます。



防災学習が終わった後で、講師の東嶋さんが、「学校にいるときと登下校の最中の対策はできたので、次は家や地域にいるときの対策を家庭でしっかり話し合ってもらおうことですね」と話してみえました。これを機会に各ご家庭で、もう一度避難場所等の確認とともに、家の中の防災対策を相談していただくとういのではないかと思います。

保護者学級が終了してから、毎年恒例の『引き取り訓練』を行っての下校となりました。今年はいにくの雨となりましたが、これまで行ったことがない教室での引き取り訓練となり、これもいい機会となりました。実施方法をしっかり確認しておいていただいたので、兄弟が下の学年に集まってそろって下校することができました。ご協力ありがとうございました。